

ファベックス2013開催

～ コメをめぐる出展企業・団体インタビュー

4月3日～5日の3日間、東京ビッグサイトで「ファベックス2013」が開催された。ファベックスは惣菜デリカ・弁当・中食・外食業界の業務用専門展で、日本食糧新聞社が主催するもの。出展企業は約400社が集結、昨年は7万人を超える食品関連業界の来場者があった。今期初日の午前中はあいにくの風雨であったが、午後より天気も好転、いつも通りの盛況となった。当紙編集局もファベックスを訪問し、いくつかの出展企業の取材を行った。今号ではコメを切り口として出展ブースの紹介をする。

環境王国（米・食味鑑定士協会）

大きく「環境王国」の看板を掲げ、コメを中心とした農産物のPRを行っているブースが目にとまった。この環境王国の事務局を担うのが、全国の新米食味鑑定コンクールで有名な米・食味鑑定士協会だ。当協会の鈴木秀之会長に「環境王国」のコンセプトを伺った。

「『環境王国』とは優れた自然環境と農業のバランスが保たれ、安心できる農産物の生産に適した環境である地域のこと。宮城大学の大泉一貫教授らをメンバーとする審査会等を通じて申請を受けた地域を『環境王国』として認定している。」

「米・食味鑑定士協会は事務局として官民の協力、産地と消費地をつなぐなどのバックアップを図る。この活動を通じた地方の農林水産業の活性化や、環境保護事業の取り組みの後押しを行って行きたい。」と鈴木会長。

2008年に始まった「環境王国」の認定市町村は、今や宮城、福島、群馬、新潟など12県に広がっている。このファベックスにおいても島根県奥出雲町や長野県木島平村などの認定市町村より出展し、行政と民間が一体となって当地の農産物の販促活動を行っていた。今後の取り組みに注目したい。



米・食味鑑定士協会
鈴木秀之会長

USAライス連合会

続いてアメリカ産米のPRを行うUSAライス連合会のブースを訪問した。当連合会はアメリカの米産業界の中核4団体で構成されている全国組織だ。日本代表事務所では中粒種のカルローズを使ったメニュー開発や用途提案を行っている。

「カルローズは日本産米の主食としての用途と競合するものではない。」USAライス連合会の担当者は語る。「現在連合会の取り組みは、ライスサラダなどの惣菜用の食材としての提案活動に力点を置いている。そのほかターメリックライスなどの洋食の付け合わせとしての販売提案などを行っている。その意味でカルローズのライバルはパンやパスタなどの食材になるのではないかと国産米とのセグメントの違いを強調した。（次ページへ続く）

業務用向け食品素材に米をアピール

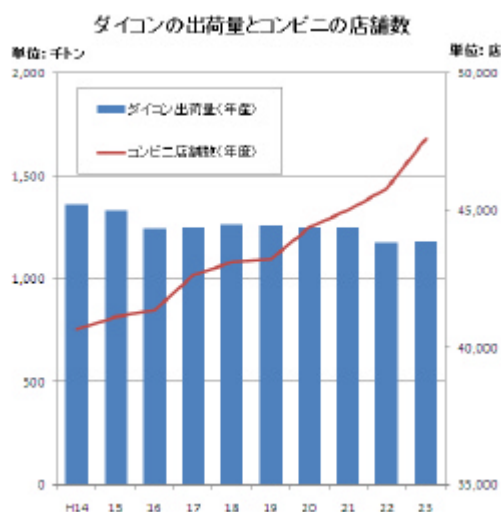
米粉関連の出展も複数社で見られた。栃木県の製粉業者である(株)波里、埼玉の穀粉・製菓原材料メーカーのみたけ食品工業(株)、秋田県の(株)大瀧村あきたこまち生産者協会などで製品紹介が行われ、業務用向け用途への販売促進を行っていた。また、日本製粉は穀物パンの生地添加到するための食品素材として玄米などの穀物を加熱殺菌処理した新素材を開発、紹介を行った。現行の国の助成制度のなかでも、新規需要米や加工用米などの食品素材としての米生産は戸別所得補償などによってバックアップされているが、需給のマッチングが定着への重要な要素だ。各社の販売促進の努力に期待したい。

ダイコンの豆知識～歴史ある野菜の最新動向

ダイコンはアブラナ科の越年草で、国内では周年で栽培されている。原産地は中東と推定されているが、日本でも縄文・弥生時代の昔から栽培されて来たなじみの深い野菜だ。現在の国内出荷量は2012年の実績で118万トン。近年減少が続いている。全体の出荷量が減少するなか、業務用向けには全体の6割を占める70万トンが使用されており、増加傾向にある。業務用の用途は次のとおり大別される。おでん原料、パッケージサラダ用のカット原料、漬物、切干ダイコンの4つだ。

このなかでもコンビニ向けおでんの原料は底堅い需要拡大が見込まれている。コンビニ業界全体の需要量は10万トンと言われており、大手コンビニを中心とする出店数の増加や、おでんの販売時期の延長が増加を後押ししている。ここ数年、種苗会社もおでん原料を想定した寸胴型の品種や、荷崩れがしにくく柔らかい品種を開発。コンビニ向けおでん原料の品質向上に貢献している。

一方産地では、このようなコンビニ向けの需要は単価が安く採算に合わないとして敬遠される傾向にある。需要者サイドはこれまで大量発注や産地での加工によってコストの抑制をはかってきた。しかし作付面積がこの15年で3割近くも落ち込む中で、コンビニ向け需要は依然増加傾向だ。今後産地の争奪戦が厳しくなると見込まれ、予断が許されない状況となっている。



全国菱肥会ブロック交流会開催日程決まる ～ 東部菱肥会事務局からのお知らせ～

既に東部菱肥会 会員様には書面にてご案内しておりますが、全国菱肥会ブロック交流会の開催日程および場所が次のとおり決定しました。会員の皆様のご参加をお待ち申し上げます。

開催場所：新潟県佐渡市

宿泊場所：八幡温泉 八幡館

(新潟県佐渡市八幡 2043 電話：0259-57-2141)

開催日時：平成 25 年 7 月 10 日(木)・11 日(金)

申込期限：平成 25 年 4 月 19 日(金)

お申込みには案内状に添付した申込用紙をご利用下さい。

この度、編集事務局が交代する事となりました。前任の小田原編集局長から引継いで約1年。小田が担当してきましたが、今後は東京支店の南部が担当致します。これからも皆様に様々な情報をお伝えできる様に、事務局全員でより良い紙面作りをしてきたいと思っておりますので、引き続きご愛読下さいませよう、宜しくお願い申し上げます。

編集事務局：小田、助川

電話：03-5275-5511/E-mail：macjournal@mcagri.co.jp URL http://www.mcagri.jp

